

金沢大学ナノ生命科学研究所 Nano Life Science Institute



生命現象をナノレベルで解明

科学は「見る」ことにより発展してきた。光学顕微鏡の開発は、細胞や微生物の観察につながり、電子顕微鏡や走査型プローブ顕微鏡(SPM)などの様々な「見る」装置が開発されるにつれて、新たな発見がなされてきた。また科学の発展は「見る」技術の進歩を後押ししてきた。今年度、新たにナノレベルの研究施設「ナノ生命科学研究所」に採用された金沢大学ナノ生命科学研究所(NanoLSI)は、これまで培ってきたナノレベルでの研究をさらに発展させ、これまで人類が見ることができなかった生命現象を捉え、操作することで、生命科学を飛躍的に発展させると同時に新たな学問領域を切り拓こうとしている。

所長メッセージ

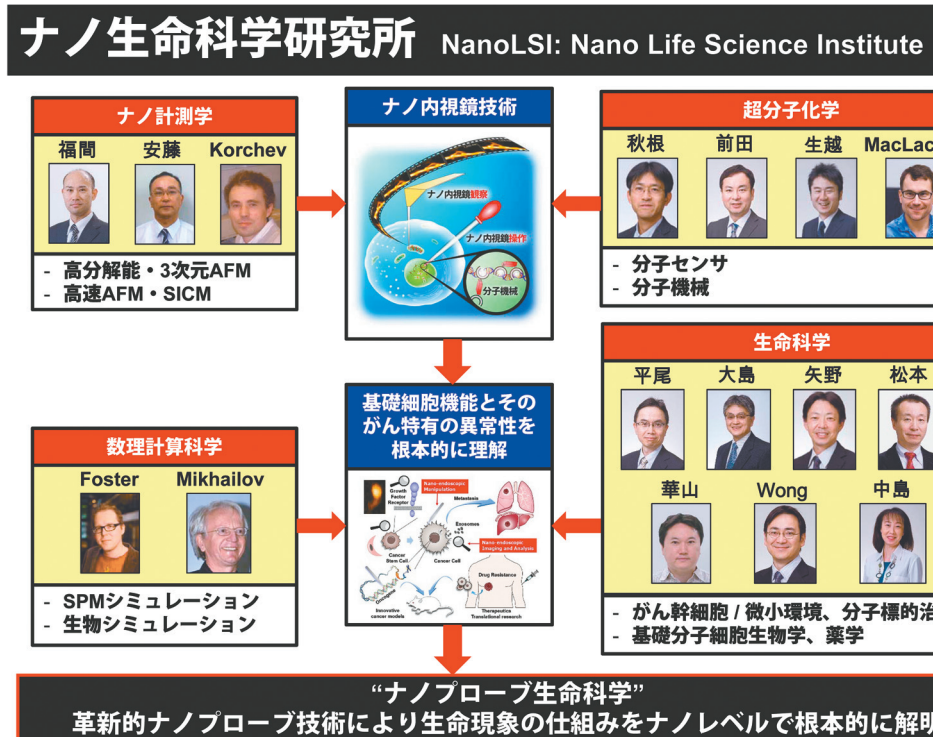


福間 剛士

生命科学研究所は、走査型プローブ顕微鏡、特に原子間力顕微鏡(AFM)や走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)によって世界を牽引する研究をきたし、このナノ計測分野の強さをベースとして、これまで進めてきた研究をさらに発展させ、生命科学の発展に貢献する。ナノ生命科学研究所には、走査型プローブ顕微鏡、特に原子間力顕微鏡(AFM)や走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)によって世界を牽引する研究をきたし、このナノ計測分野の強さをベースとして、これまで進めてきた研究をさらに発展させ、生命科学の発展に貢献する。

細胞を直接見る顕微鏡開発へ がん研究の成果さらに発展

がん研究にとって新たな試みであり、また同時にナノ計測の研究者にとっても超分子化学の研究者にとっても新たな試みとなる。融合顕微鏡を用いたがん研究の進展が期待される。融合顕微鏡を用いたがん研究の進展が期待される。融合顕微鏡を用いたがん研究の進展が期待される。



可能な限りの機器を手に確保しようとする。可能な限りの機器を手に確保しようとする。可能な限りの機器を手に確保しようとする。

超分子化学

超分子化学グループは、分子センサや分子機械の研究開発を担っている。これまで様々な超分子化学の成果を生み出し、がん研究の進展に貢献している。

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる
効率よいセンサの設計に挑む

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる。効率よいセンサの設計に挑む。がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる。

高速AFMが覆った常識 SICMが超えていく

高速AFMが覆った常識。SICMが超えていく。高速AFMが覆った常識。

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)の原理と応用。ナノレベルでの高精度測定を実現する。

ナノ計測学

ナノ計測学の最新動向と未来展望。ナノレベルでの高精度測定を実現する。

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)の原理と応用。ナノレベルでの高精度測定を実現する。

生命現象をナノレベルで解明

生命現象をナノレベルで解明するための最新技術と研究成果。生命現象をナノレベルで解明。

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる
効率よいセンサの設計に挑む

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる。効率よいセンサの設計に挑む。がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる。

効率よいセンサの設計に挑む

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる。効率よいセンサの設計に挑む。がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる。

超分子化学

超分子化学の最新動向と未来展望。超分子化学の最新動向と未来展望。

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる
効率よいセンサの設計に挑む

ナノ計測学

ナノ計測学の最新動向と未来展望。ナノレベルでの高精度測定を実現する。

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)の原理と応用。ナノレベルでの高精度測定を実現する。

生命現象をナノレベルで解明

生命現象をナノレベルで解明するための最新技術と研究成果。生命現象をナノレベルで解明。

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる
効率よいセンサの設計に挑む

生命科学

生命科学の最新動向と未来展望。生命科学の最新動向と未来展望。

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる
効率よいセンサの設計に挑む

超分子化学

超分子化学の最新動向と未来展望。超分子化学の最新動向と未来展望。

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる
効率よいセンサの設計に挑む

ナノ計測学

ナノ計測学の最新動向と未来展望。ナノレベルでの高精度測定を実現する。

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)

走査型イオン伝導顕微鏡(SICM)の原理と応用。ナノレベルでの高精度測定を実現する。

生命現象をナノレベルで解明

生命現象をナノレベルで解明するための最新技術と研究成果。生命現象をナノレベルで解明。

がん細胞内で化合物の局所濃度を調べる
効率よいセンサの設計に挑む